

- Whitham, G.B., 1974: Linear and nonlinear waves, John Wiley.
- Williams, G.P. and T. Yamagata, 1984: Geostrophic regimes, intermediate solitary vortices and Jovian eddies, *J. Atmos. Soc.*, 41, 453-478.
- Wyrtki, K., 1975: El Niño-The dynamic response of the equatorial Pacific Ocean to atmospheric forcing. *J. Phys. Oceanogr.*, 5, 572-584.
- Yamagata, T., 1982: On nonlinear planetary waves: a class of solutions missed by the traditional quasi-geostrophic approximation, *J. Oceanogr. Soc. Japan*, 38, 236-244.
- Zakharov, V.E. and P.B. Shabat, 1972: Exact theory of two-dimensional self-focusing and one-dimensional self-modulation of waves in nonlinear media, *Sov. Phys. JETP*, 34, 62-69.

## 第9回風工学シンポジウム開催のお知らせと発表論文の募集について

**主旨** 構造物の耐風性など風工学に関する気象・土木・建築・電気各分野における研究成果と技術の交流を目的として、標記シンポジウムを下記により開催することになりました。発表論文をふるってご応募下さいますようお願いいたします。

**共催** 日本学術会議構造研究連絡委員会耐風構造分科会、土木学会、日本気象学会(幹事学協会)、日本建築学会、日本鋼構造協会、電気学会、日本風工学会

**開催期日**：昭和61年12月4日(木)～5日(金)

**会場**：気象庁講堂(東京都千代田区大手町1-3-4)

### 発表論文の募集

#### (1) 課題

課題はつぎによるものとし、内容は独創性のあるものでなければならない。

- (a) 自然風の性質, (b) 環境と自然風, (c) 強風災害,  
(d) 風圧・空気力および構造物の周りの流れ, (e) 風による構造物の応答, (f) 耐風設計, (g) 計測方法・風洞実験法

#### (2) 応募方法

- (a) 論文提出希望者は、昭和61年6月30日(月)(必着)までに、右記の項目について記入のうえ、A4版用紙に、目的・論旨・結論が明確に分かるような内容概要を邦文2,000字程度で記して、右記に提出

する。論旨・結論には独創性のある点について言及すること。なお、主要な図表の添付が望ましい。また、他の学会誌などに投稿した論文と同一の内容の論文については投稿を認めない。

- ① 所属学協会, ② 氏名(連名の場合は発表者に○印を付ける), ③ 勤務先・職名, ④ 連絡先, ⑤ 論文名, ⑥ 上記(1)の課題(a)-(g)を記入

(b) シンポジウム論文審査委員会は、発表論文の採否を昭和61年7月日中旬までに決定し、応募者に通知する。

#### (c) 発表論文の執筆

- ① 論文採否通知の際、採用された応募者には執筆要領および所定の原稿用紙を送付する。ページ数は6ページ以内(英文概要を含む)の偶数ページとする。

② 提出原稿はワープロ(タイプ打ちも可)とする。

③ 論文原稿は、昭和61年9月16日(火)(必着)までに下記に提出する。

#### (3) 応募・論文提出・問合せ先

〒305 茨城県筑波郡谷田部町長峰1-1

気象研究所物理気象研究部気付

「第9回風工学シンポジウム運営委員会」

Tel. 0298-51-7111 内線 605

(担当 藤谷徳之助)